

議員全員協議会

全議員に重要な取り組みの説明がありました

廿日市市定員管理計画の

見直しについて

本市では、令和3年7月に定員管理計画（令和3～7年度を策定し、令和8年4月1日の職員数を令和3年4月1日の職員数と概ね同数の1,030人とする目標にしています。

こうした中、本市を取り巻く社会情勢の変化、将来に向けたまちづくりの取り組みを着実に推進していく体制整備を行うため、定員計画の見直しを行う、との説明がありました。

見直しの背景

- ①働きやすい職場環境の整備
- ②「選ばれ続けるまち」の推進
- ③国の取り組みに呼応した対応
- ④定年年齢の引き上げ等の対応
- ⑤より良い保育環境の整備
- ⑥水道事業の広域連合への参加

見直しの内容

目標値 令和8年

職員1,050人

主なQ&A

Q 定年年齢引き上げの対応が増加に何人くらい影響しているか。

A 10人程度増加と見込んでいる。

新機能都市開発事業としての 平良丘陵土地区画整理事業の 進捗状況について

今年5月、土地区画整理組合を設立。9月には観光交流エリアのまちづくり協議会が立ち上がり、全体で70haの造成工事に入りました。Bゾーンでは令和10年度開業を目指し市内外の企業20社が内定。Aゾーンの観光交流エリアは、15haの中に宿泊施設・温浴施設・飲食・物販、体験型施設などを計画。年間400万人の誘客を見込み、経済効果200億円としています。

主なQ&A

Q Aエリアの見込み客と宮島との関係はどうなるのか。

A 奪い合うのではなく相乗効果を見込んでいく。

Q 交通体制の中で国道2号西広島バイパスとの関係はどうか。

A コネクティブキング宮島との関係で、国や県に早く進めるように要請していきたい。

地球温暖化対策実行計画(案) について

本市から排出される温室効果ガスの削減に向けた廿日市市地球温暖化対策実行計画(案)の説明がありました。

計画期間：令和6～12年度

対象とする範囲：区域施策編は廿日市市全体、事務事業編は市の事務及び事業

対象とする温室効果ガス：「地球温暖化対策の推進に関する法律」で示された7種のうち、全体の8割近くを占める二酸化炭素(CO₂)削減目標：2013年度比で

2030年度 51%削減
2050年度 カーボンニュートラル

本市には安定したベース電源を確保できることが強みであるため、

地域新電力会社の設立を核として市民・事業者・行政が一体となって推進することを目指すものです。

今後のスケジュール

令和6年1月	パブリックコメント
同 2月	庁内検討委員会
同 3月	環境都市推進委員会
同 4月	計画策定・公表
同	地球温暖化対策実行計画スタート

主なQ&A

Q 新電力会社設立時期は。

A 来年度中に設立し、令和8年には電力供給を開始したい。

Q 新電力会社に切り替えると、CO₂の削減になるとのことだが、電気料金はどうか。

A 今後協議するが、現在の電力全体の数字を参考に試算すると年間約4400万円の電気料金の減額になる。

Q 市が電力会社をつくり、みんなに供給できるのか。

A まずは公共施設に100%、さらに可能性があれば市内事業者に供給したい。状況を見ながら進めていく。

宮島口地区整備事業の

進捗状況と今後の計画について

宮島口整備事業は、「宮島口地区まちづくり整備計画」（平成29年12月策定）に基づき進められています。計画期間は令和2年度までを短期、令和8年度までを中期、令和18年度までを長期と位置付けています。

令和5年度完成予定：県事業の港湾緑地、カーフェリー桟橋、広島電鉄幹線事業の駅前広場、観光バス駐車場

令和6年度完成予定：県事業の県道厳島公園線ロータリー、東側護岸高潮対策、ターミナル待合所

令和7年度完成予定：市の工事であるロータリーを含む赤崎14号線2工区工事

令和8年度完成予定：県と市の共同事業である、アクセス道路の赤崎3号線、市の工事である国道2号北側の赤崎3号線、県の工事である東側の海辺の回遊軸工事

主なQ&A

Q 赤崎14号線はいつ頃から使えるのか。

A 今年度末には供用開始になる。

Q 待合所ができるのはいつか。

A 大栈橋上に設置するよう設計中で、12月末までにはプレハブで仮設の待合所を設置する。

Q 赤崎3号線の横断歩道は歩行者が多く、車が通行できないので改善できないか。

A 混雑が予想される日には誘導員を配置している。4車線化後の動向にも注視し対応を図りたい。

Q タクシー乗り場の待合所に屋根を付けてもらえないか。

A 広島県と話してみる。



文教厚生常任委員会説明

今後の事業方針が示されました

◆廿日市市健康増進計画（第3次）
及び廿日市市食育推進計画

◆廿日市市自殺対策計画（第2次）

◆第7期廿日市市障がい福祉計画・第3期廿日市市障がい児福祉計画

の案について説明を受けました。開始はいずれも令和6年度です。

主なQ&A

Q 本市でもオーガニックを進める農家が出てきている。食の安全性の意識を持つことは大事であり、食育推進計画には、オーガニックという言葉を入れたらどうか。

A 環境負荷の低減のために農産物の生産体制を整えていくことも大事であり、検討したい。

議場機器をデジタル化

一般会計補正予算

議会棟議場撮影音響設備等改修工事

3188万円

使用開始から13年経過した議場のマイクシステムを更新します。また、マイクシステム更新に合わせ、議場の議会運営システム機器をすべてデジタル化し、令和4年度に

Q 自殺対策について、どこへ相談すればよいのか。

A まずは総合的な受付を行う場所から最適と思われる場所へ繋ぐ。

宮島幼稚園の認定こども園に係るスケジュール変更について

幼稚園の運営を行いながら改修工事を行う予定でしたが、運営と分離しての施工に変更し、当初令和6年4月としていた工事の着工を令和7年4月に変更します。また、認定こども園の運営開始は令和7年4月ですが、宮島幼稚園現地での工事期間中（令和7年4月9月末）までは宮島福祉センター（現みやじま保育園を運営）を仮園舎とします。

更新済みの映像システムとも連携することにより、円滑な議会運営を推進します。

傍聴席には難聴者のためのヒアリンググループが設置されます。

改修工事は令和5～6年度に行われ、全体事業費は8189万2千円です。